

# 令和6年度 第1回ゼロカーボン研究会 事後調査報告

## 1. 調査概要

### 1.1. 目的

ゼロカーボン研究会に参加する自治体及び事業者等の研究会へのニーズを調査・分析し、岡山連携中枢都市圏、周辺自治体、事業者及び大学等と「ゼロカーボン社会」実現へ向けた“実現可能な事業創出”につながる研究会及び分科会を開催することを目的とする。

### 1.2. 実施日

2024年5月23日(木) 研究会終了後

### 1.3. 調査対象

令和6年度 第1回ゼロカーボン研究会の参加者41名（自治体11名、民間事業者・その他30名）を対象にアンケート調査を行った。

### 1.4. 調査方法

アンケート形式は、用紙記入、web記入の回答方法とした。

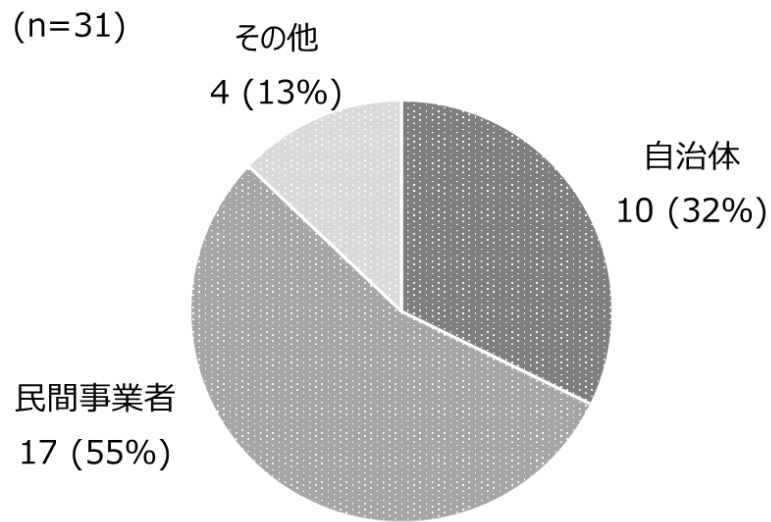
### 1.5. 回収状況

回答数：31件（自治体10件、民間事業者・その他21件）

回収率：76%（自治体91%、民間事業者・その他70%）

## 2. アンケート結果

### 1) アンケート回答者の所属区分

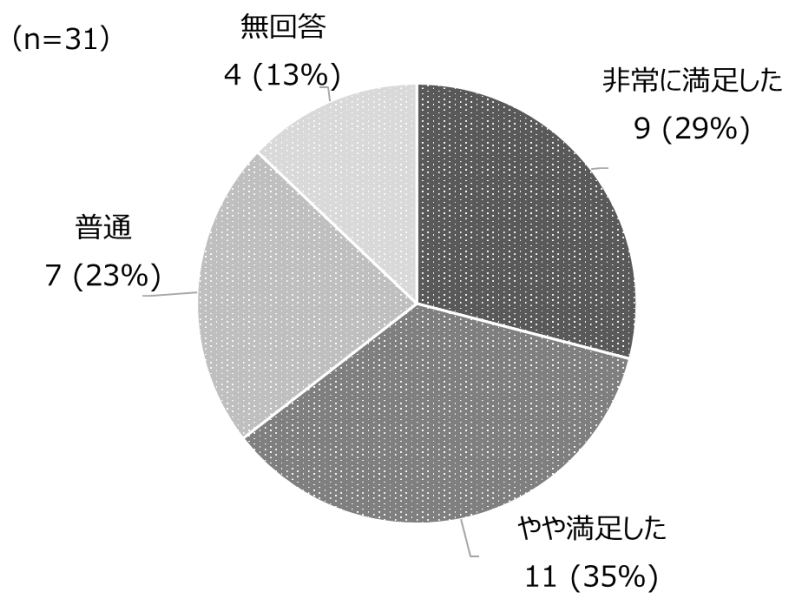


#### 【その他の内容】

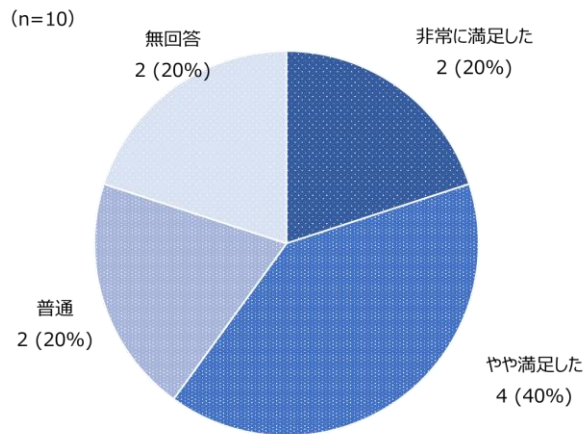
- ・ 省エネ、脱炭素、経営改善コンサルティング
- ・ 大学（2件）
- ・ 環境保全事業団

### 2) 今回の研究会に対する満足度を教えてください。

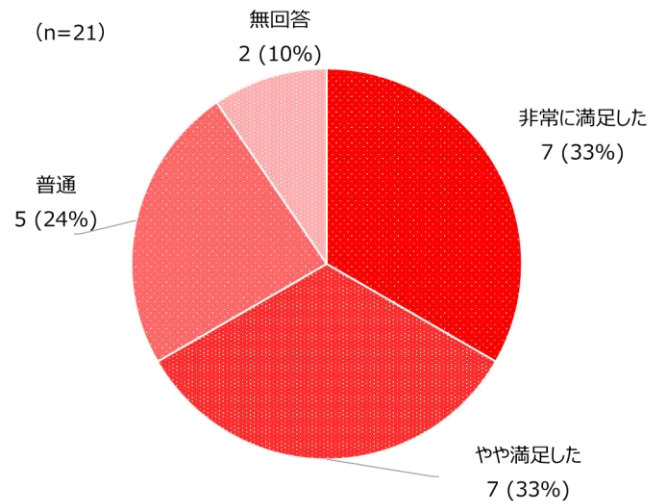
- 全体の満足度は「やや満足した」が最も多く、全体の35%であった。また64%が満足したと回答した。



回答者：全体



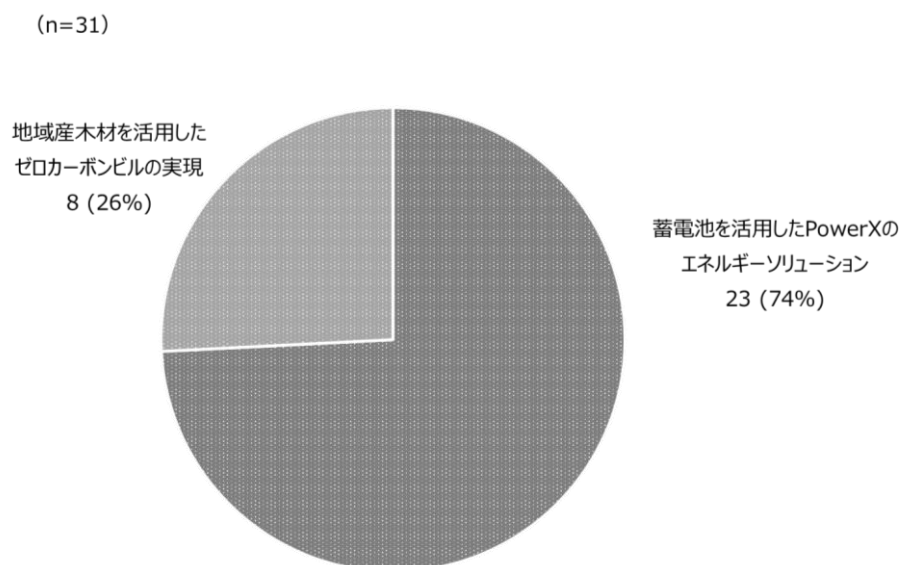
(満足度) 自治体



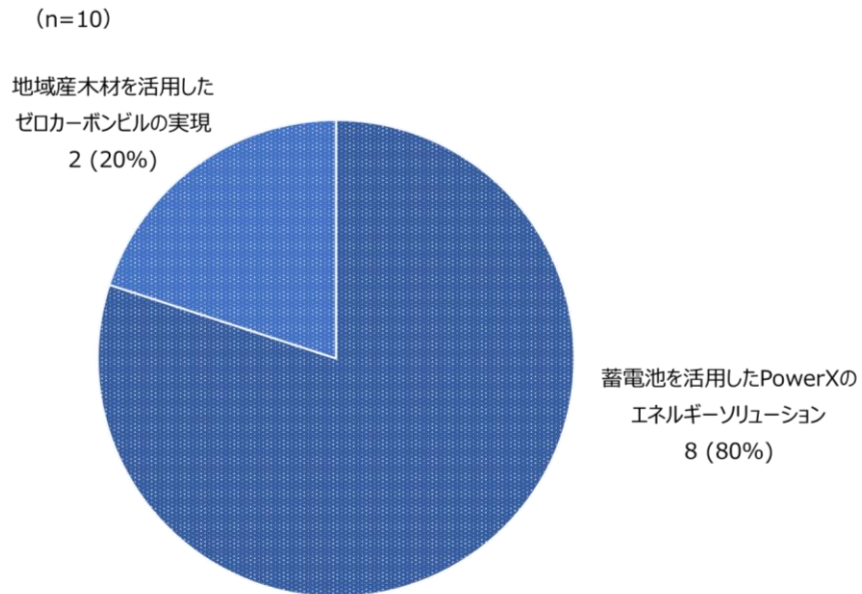
(満足度) 民間事業者・その他

3) 今回の講演内容のうち最も参考になった講演を 1 つ 選択してください。

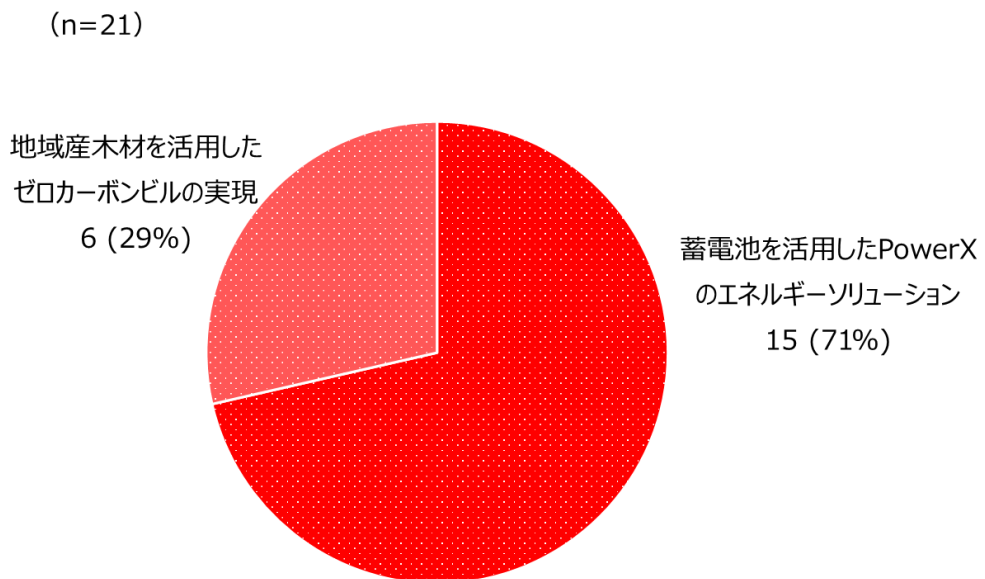
- 全体の回答としては「蓄電池を活用した PowerX のエネルギーソリューション」が最も多かった。



回答者：全体



回答者：自治体



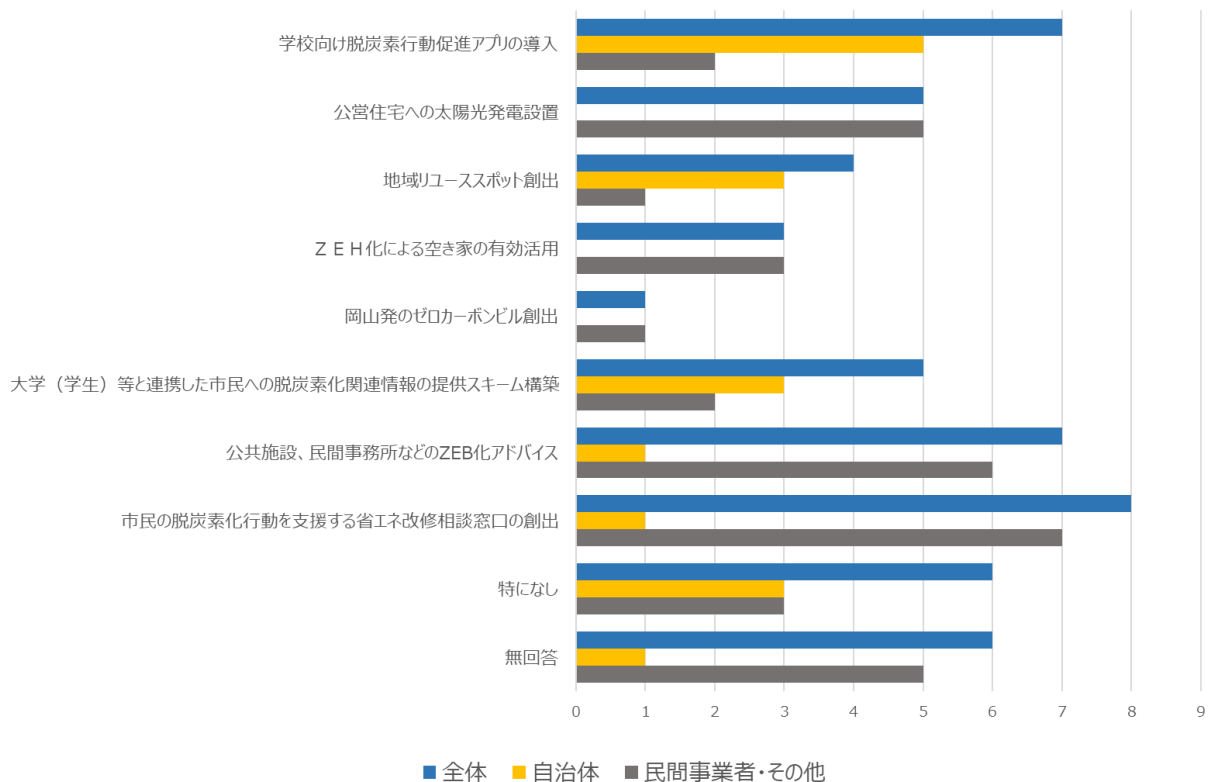
回答者：民間事業者・その他

4) 事例研究についてお伺いします。今回の講演内容で印象に残ったことや、自団体で実施したいことがありましたら教えてください。

- 質問；材木使用原料量に対する植林率（50年先の材木原料）はどれくらいを考えて植林事業を支援している？
- 脱炭素ソリューションは様々あるが、まだまだ自治体、事業者も時間軸長く、スピード感をもった対応には至っていない。是非、自治体には国産、地元製品を積極的に活用した住民の行動変容を起こせる様な施策を検討実行いただきたい。
- 木材利用に伴うCO2固定化

- EV と蓄電池の組み合わせに施策の可能性を感じた。
- 超急速充電が普及すると良いなあと思いました。
- 公共施設への蓄電池（PowerX）の設置を検討したい
- 蓄電池の有効な活用に期待しています。木材の活用についても大変興味深く聞かせて頂きました。
- 蓄電池を活用したピークカットによるコスト削減や電源の安定化（BCP）、太陽光の有効活用
- 産業用蓄電池の導入が進めば脱炭素がもっと加速するのではないかと感じました。県内にメーカーがあることで、岡山県での導入が進みやすいのかなと思います。
- パワーエックスさまの事業には予てより興味が有り、参考になりました。超急速充電器を取り扱っておられ、EV 事業と何か協業出来るところがあればと思います。
- EV 関連事業
- ゼロカーボンビルは LCCO2 補助金が利用できそうなのは理解できた。ただ、ZEB の様に認証として、もって CSR で対外的にアピールできる社会情勢がまだ、できてない様に感じる。
- （株）パワーエックスは制御システムを一気通貫で自社開発していることが印象に残りました。
- CLT, PPA 事業（太陽光）
- 定置用蓄電池のメリットについて、kw あたりの金額
- PowerX さんの今後の発展が楽しみであり、興味があります。
- 今後の出力抑制の可能性について、発電事業者として無視できない水準となっている点
- 電力エネルギーについて、自社でも蓄電池を導入し、エネルギーの有効活用を実施していきたい。
- 炭素を固定させたままにするだけでも、ゼロカーボンに向けてのとても大きな一歩であることを知れて、何か大きな発明をしないと対策できないという固定観念が払拭されました。

5) 事業創出についてお伺いします。本日説明させて頂いた事務局案の中で、ご参加の可能性がある取組を教えてください（複数選択可）



6) 事業創出についてご意見、ご質問、新たな事業案などございましたらご記入ください。

- 都合で早く帰ってしまい申し訳ありません。またよろしく願いいたします。
- 学校向けのアプリはユニークで良いと思う。住宅事業者としては出来る事に取り組みたい（空き家バンク→移住者）
- EV等に関する事務局案を示していただければ幸いです。
- 予算を掛けての事業は難しいと思いますが、庁内調整等であれば行えると思います。公営住宅への設置について住宅自体が老朽化しており難しそうです。
- 赤磐市ではエコプラザでリユース品の販売をしていますが、そこと連携して何かできれば良いかなと思います。（まだノープランです）
- 公営住宅への太陽光はスキームのハードルが非常に高い（誰がどれくらい再エネを使ったか調べる方法が難しい）。これをクリアできれば、実現可能性も有るかと思う。北九州事例をしっかりと見てみたい。
- 市内で検討します。是非とも事業化したいです。
- Jクレジット太陽光の「ちゅうぎんカーボンクレジットクラブ」に関する業務を行っております。岡山県、岡山市などと補助金「あつ晴れおかやまエコクラブ」などと連携し地域の脱炭素が加速できる仕組みが作れないか考えたい。

以上